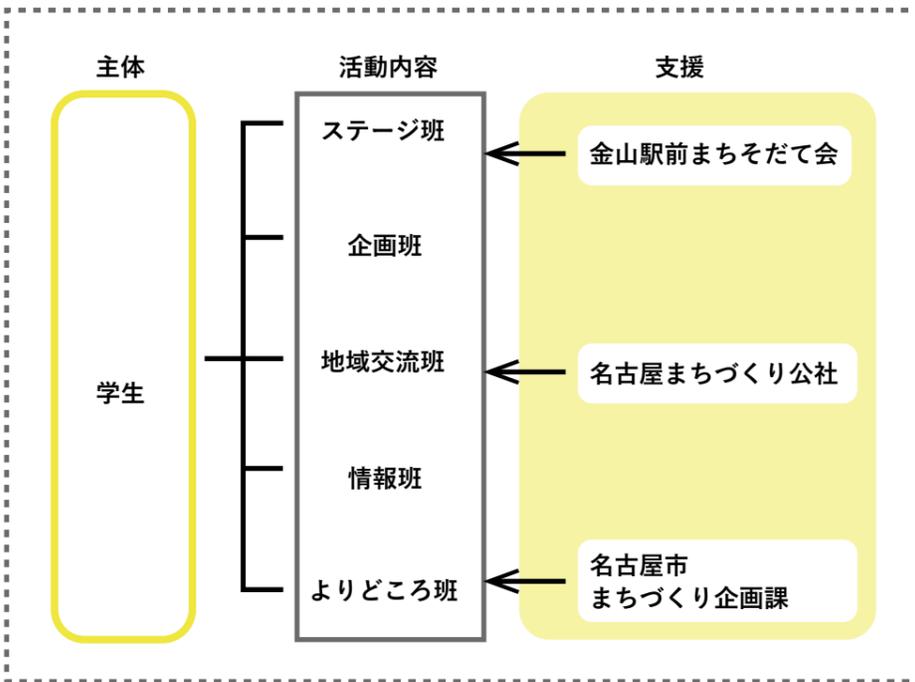




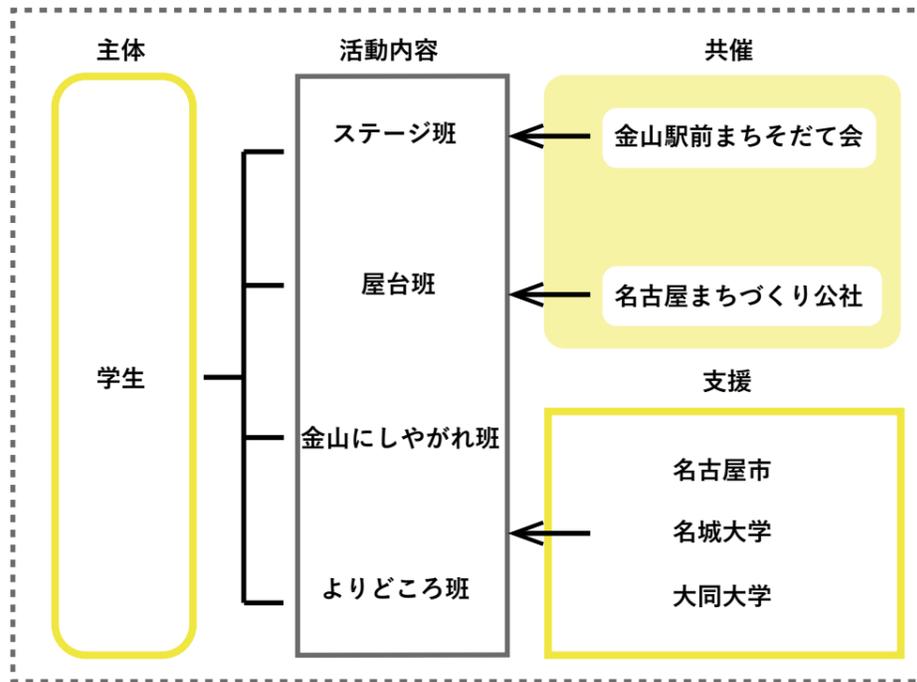
## 02 金山学園祭活動について

活動体制 地域の協力の下、学生主体で企画 2023



学園祭を運営するにあたり、ステージ班・企画班・地域交流班・情報班・よりどころ班の5つの部署に分かれ、地域の方々に支援をいただき活動しています。

活動体制 地域の協力の下、学生主体で企画 2024



学園祭を運営するにあたり、ステージ班・屋台班・金山にしやがれ班・よりどころ班の4つの部署に分かれ、地域の方々に支援をいただき活動しています。

## 01 金山学園祭とは

背景 学生アイデアソンにて誕生！

2023年の2月に金山駅前まちそだて会が実施した「アイデアソン」で優勝したアイデアである「金山で学園祭を行う」を基に「金山学園祭」のプロジェクトが始動しました。「金山学園祭」では、ステージパフォーマンス、よりどころとなる滞留空間の制作、金山の飲食店とコラボした屋台を出店など、学生が主体となって企画し、実施に向けて、地域の方々と協力し、準備をおこなっていました。



目的 学生がまちの魅力をPR

学生が主体的に企画・準備・実行し、金山のまちの魅力をPRすることを目的とした活動をしています。金山総合駅周辺地域には歴史や文化などの魅力が多く潜在していますが、それがあまり認知されておらず通勤・通学のための交通の拠点として知られている印象が、多くの若者の中で定着しています。そこで、第1回金山学園祭では、金山を高校生や大学生などの若い子をもって来て楽しめる場所にしていくため、多くの学生が各大学から集まり、多角的な視点で学園祭を盛り上げる企画を提案しました。第2回金山学園祭では、学生の挑戦の場となることを目的とし、金山総合駅周辺地域を活気ある場所にする企画を提案していききました。

開催日・開催場所

場所 金山駅

第1回目時  
令和5年11月25日(土) 10:00~20:00  
令和5年11月26日(日) 10:00~20:00  
第2回目時  
令和6年9月14日(土) 10:00~20:00  
令和6年9月15日(日) 10:00~20:00

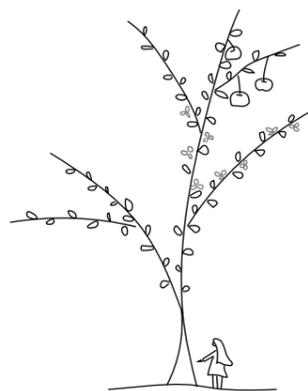


## 03 よりどころ班とは

金山学園祭

活動目的 金山によりどころを

よりどころ班は、金山学園祭を盛り上げるうえで人の活動や休息、告知、誘導、イベントをするための”よりどころ”を計画および制作することを目的とした班です。金山学園祭の各テーマに合わせ、学生が多角的な視点をもって地域住民、団体・組織・商業者と交流しながら会場を企画していきます。



活動内容 企画から制作までを学生で



主張よりどころ班 in 大同大学学園祭

活動目的 各エリアによりどころを

金山学園祭のPRを兼ね、大同大学の学園祭を盛り上げるための”よりどころ”を企画しました。金山総合駅周辺地域の魅力、知られざる金山の本質を伝えながら、訪れた人々が心落ち着くことのできる場所を提供する活動をしました。



金山まつり金山南ビル大階段装飾

活動内容 大階段でのインスタレーション

金山文化会館、明日なる金山、金山総合駅南口広場、金山南ビル、金山社の5箇所で開催された歴史あるまつりに参加し、金山南ビルの大階段でインスタレーションを実施しました。地域の方々から資料提供していただいた部材を活用し、金山総合駅周辺地域での暮らしを表現する企画に取り組みました。



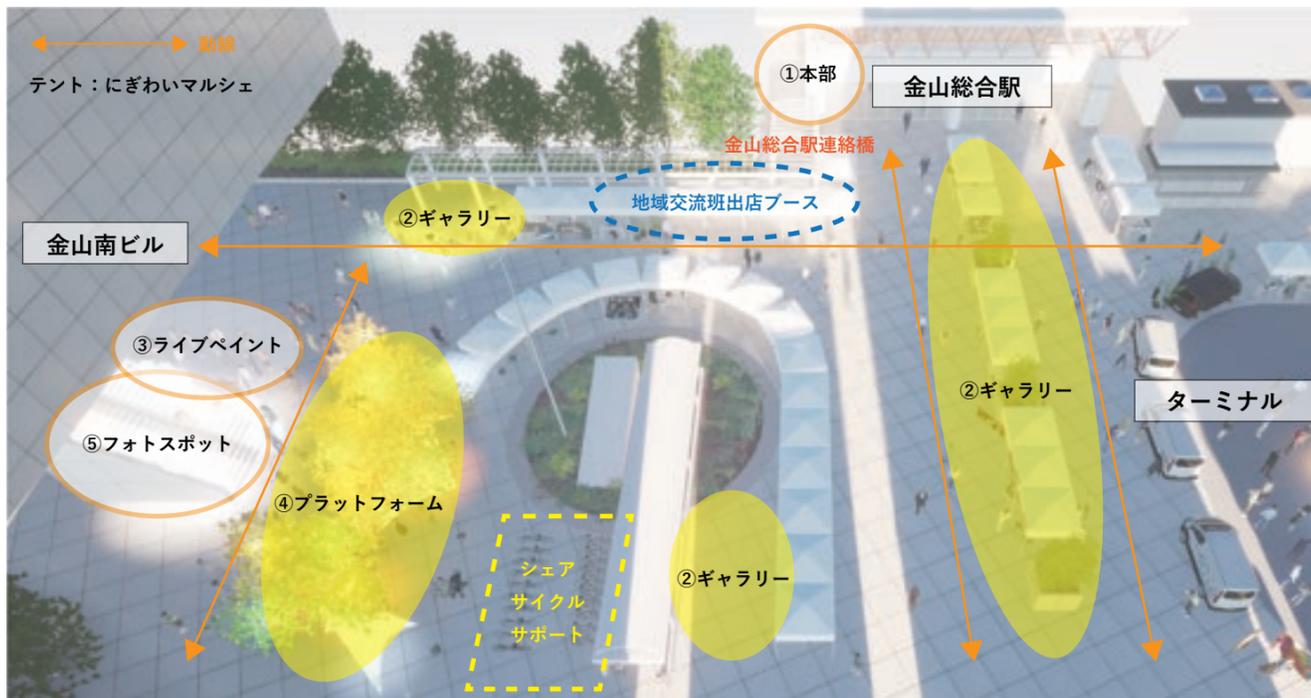
ごろごろあーとでまちづくり

活動内容 大晦日にまちの魅力を発信

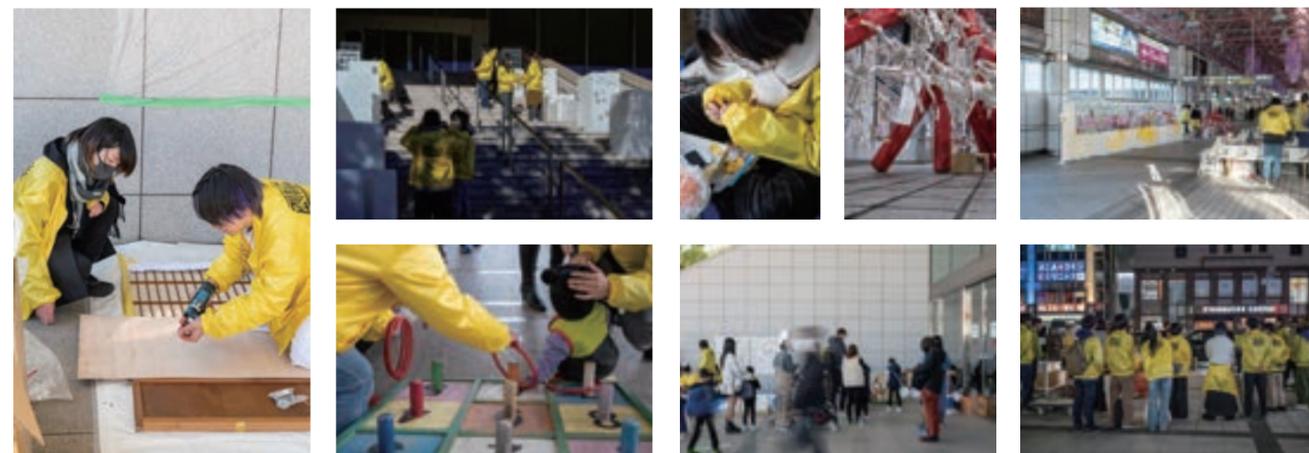
金山総合駅南口広場で大みそかに開催される「にぎわいわいマルシェ」に参加し、金山総合駅周辺地域の魅力発信をしながら、休憩所として使えたり、子どもたちが楽しめる企画をしています。



コンセプト 金山総合駅周辺地域で学生それぞれが考えるよりどころ

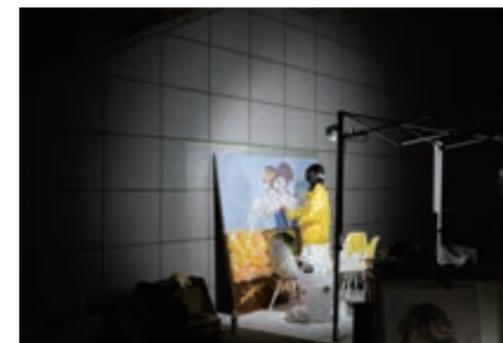


金山学園祭のコアを担う本部や金山総合駅周辺地域を舞台にした作品展示、学生・協賛企業・学校の宣伝を目的としたギャラリーに加え、金山総合駅前南口広場では2日間書いて描いていくライブペイントに、金山南ビル様の大階段を利用したフォトスポット、街路樹をイルミネーションで鮮やかに彩ったプラットフォームの以上6つのよりどころを企画しました。



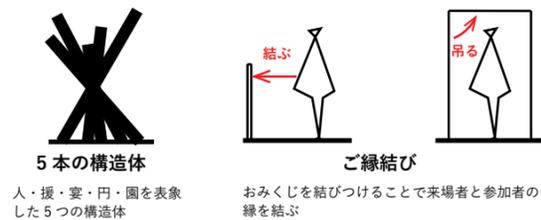
③ ライブペイント

金山駅南口広場で行われるパフォーマンスの舞台を目的とした空間です。また、落書きコーナーを併設させることで、子どもたちと一緒に2日間かけて一枚の絵を描いていく“よりどころ”になっています。



① 本部

学園の本部となり、金山駅を特徴付ける赤色のトラスから零れ落ちた生命が根付くことで、誕生した崇拜する対象になります。参加型のアートとすることで、来場者や出店者のご縁が実を結ぶ“よりどころ”になります。



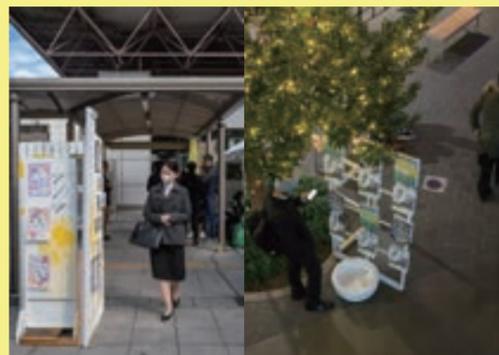
④ プラットフォーム

金山駅南口広場に集う人達が気軽に立ち寄ることのできることを目的とした場所です。バス停で待っている人や通勤・通学、帰宅する人、来場者、出展者が目的・年齢・立場を問わず交流する“よりどころ”になっています。



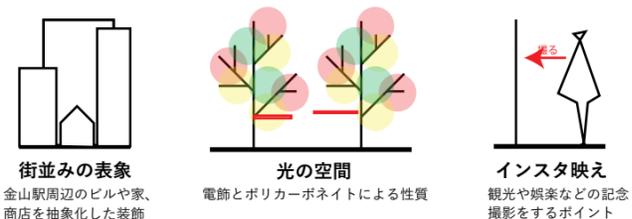
② ギャラリー

学園祭を盛り上げる学校・企業を紹介するボードを廃棄材を組み合わせ構成していきます。窓枠が大小様々なスケールで展開されており、「見透す」「潜る」「見つける」を要素とした遊び心のある“よりどころ”になります。



⑤ フォトスポット

南口広場で行われるパフォーマンスでアーティストが登壇する場所です。金山南ビルと連動して、街並みを表象した照明により、写真撮影を楽しむ“よりどころ”になります。



コンセプト 金山総合駅周辺地域で学生それぞれが考えるよりどころ

明日なる金山ステージ



明日なる金山ステージでは、「木の根」をコンセプトとしており、学生が夢に向かって活動する様子をかたちにした“よりどころ”をつくります。

学生展覧会



金山学園歴史



金山南ビルでは、「実り」をコンセプトとしており、学生が課題で取り組んだ作品を集まり、発表をする場所としての“よりどころ”をつくります。



本部



金山総合駅連絡橋では、「発芽」をコンセプトとしており、金山学園祭の今後の可能性や発展につながる“よりどころ”をつくります。



明日なる金山

金山総合駅

金山南ビル

金山総合駅前南口広場

物品協賛頂きました資材を再利用することを前提に、重しとして使用するペットボトルを活かしていくインスタレーションをしています。ペットボトルを純粋に鎮座させたものや解体して作成したお花が会場を彩り、再利用した支えの部材、建具、容器、イーゼルに学生らしさあふれる息吹を与えます。今回の会場レイアウトのテーマは「大樹」としています。昨年度のテーマである「光」から前進し、たまに脱線したり道迷いながら夢や希望に向かって実直に伸びていく姿を表しています。明日なる金山ステージでは「木の根」、金山総合駅連絡橋では「発芽」、金山総合駅南口広場では「開花」、金山南ビルでは「実り」をコンセプトとして、各会場は計画されています。

ペットボトルアート



金山総合駅南口広場では、「開花」をコンセプトとしており、花が咲いて空間を彩っていくかのように“よりどころ”をつくります。